

## トヨパラックス(塩素化パラフィン, Chlorinated paraffin)の性状

トヨパラックスは塩素化パラフィンの当社商品名で、  
次の品種がある。

高分子系トヨパラックス (A-40, A-50, A-70)  
パラフィンワックス (C18~C30) の40%, 50%

70% 各塩素化物  
低分子系トヨパラックス (145, 150)  
ノルマルパラフィン (C12~C16) の45%, 50%  
各塩素化物

表 1 一般的性質(代表値)

	A-40	A-50	145	150	A-70
外 観	無色～淡黄色の透明液状				白色粉末
塩素含有量 [%]	41	50	43	50	70
比 重 (25°C)	1.16	1.28	1.16	1.24	1.65
粘 度 (25°C) [Poises]	17	330	2	12	—
流 動 点(A-70は軟化点)[°C]	-20	+10	-25	-20	94
屈 折 率 (25°C)	1.503	1.518	1.496	1.509	1.57
引 火 性	な し	な し	な し	な し	な し
臭 気	な し	な し	な し	な し	な し
毒 性	な し	な し	な し	な し	な し

## § 塩素化パラフィンについての参考文献

- (1) 井沢, 松岡, 加藤, 国光; “東洋曹達研究報告”, 4, 33, 103, 114 (1960).
- (2) 井沢, 加藤, 国光; *ibid.*, 5, 21 (1961).
- (3) 小山, 小坂, 国光, 江村, 渡辺; *ibid.*, 8, 37 (1964).
- (4) 藤井, 国光, 井原; *ibid.*, 12, 53 (1968).
- (5) 永井, 井沢; “ユニットプロセスシリーズ”, 3, 76, 化学工業社 (1964).
- (6) 小山, 国光; “塩化ビニール”, 4, No. 3, 28 (1964).
- (7) 藤井, 国光; “塩化ビニールとポリマー”, 8, No. 8, 6 (1967).

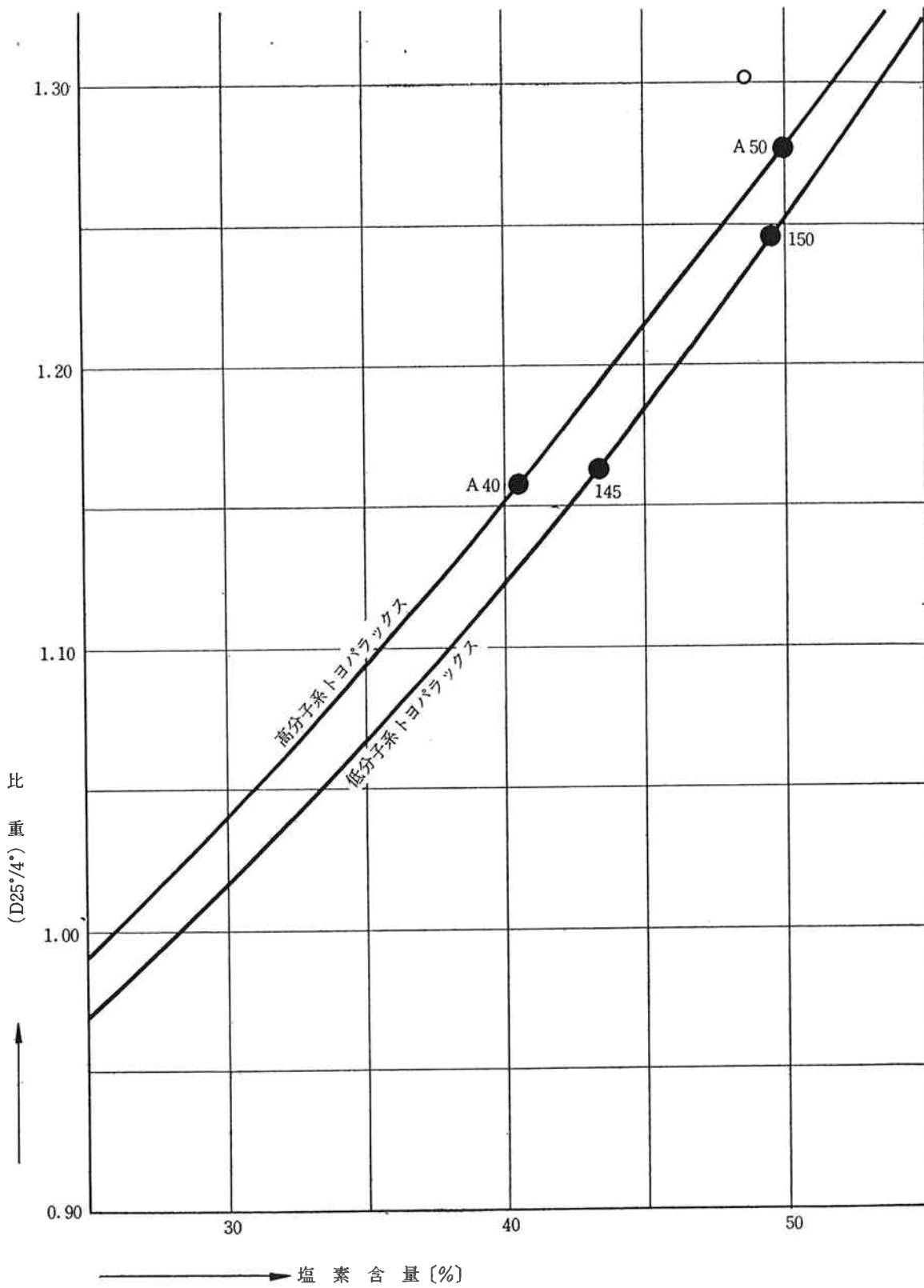


図 1 トヨパラックスの塩素含量と比重の関係

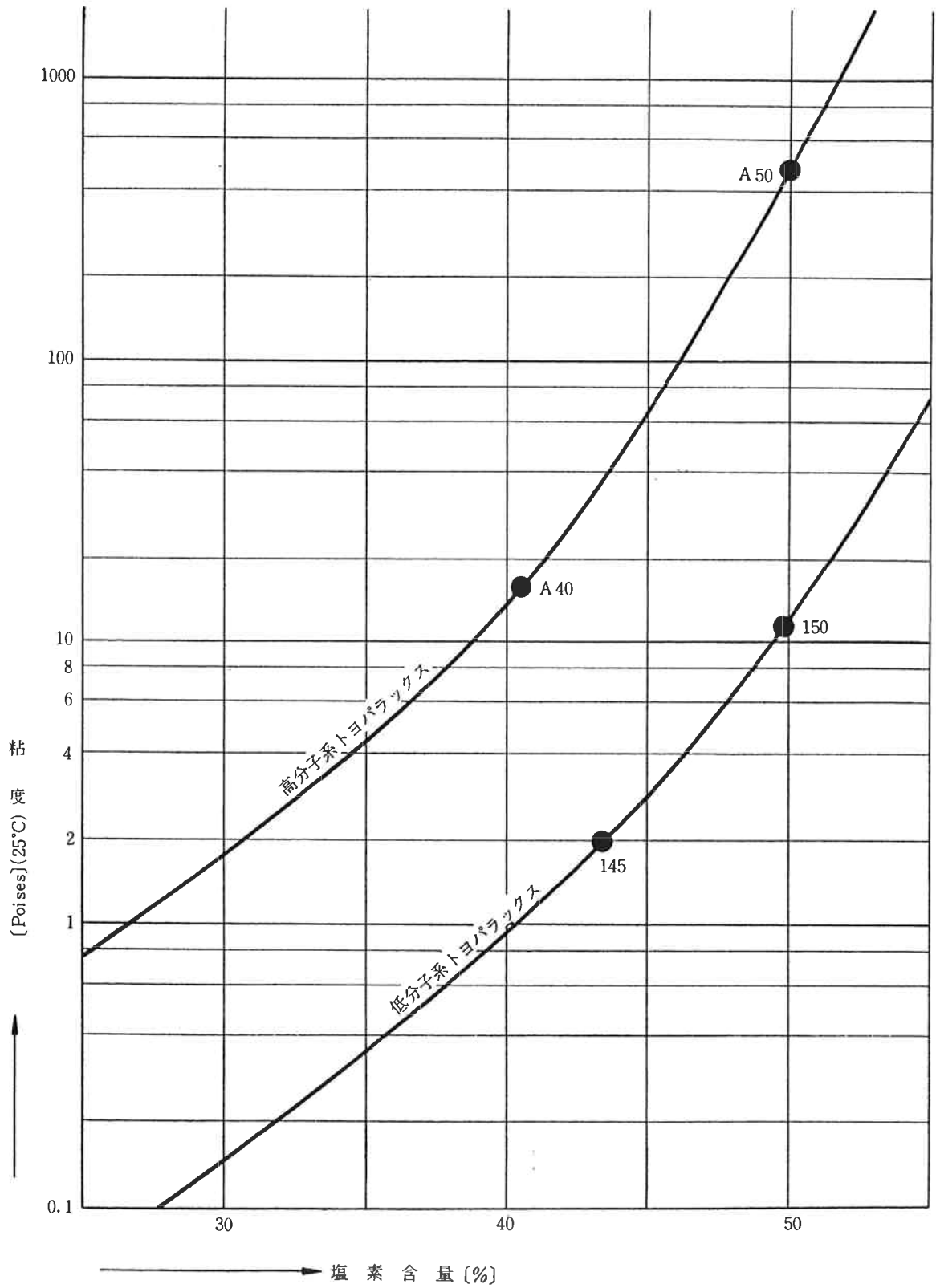


図 2 トヨパラックスの塩素含量と粘度の関係

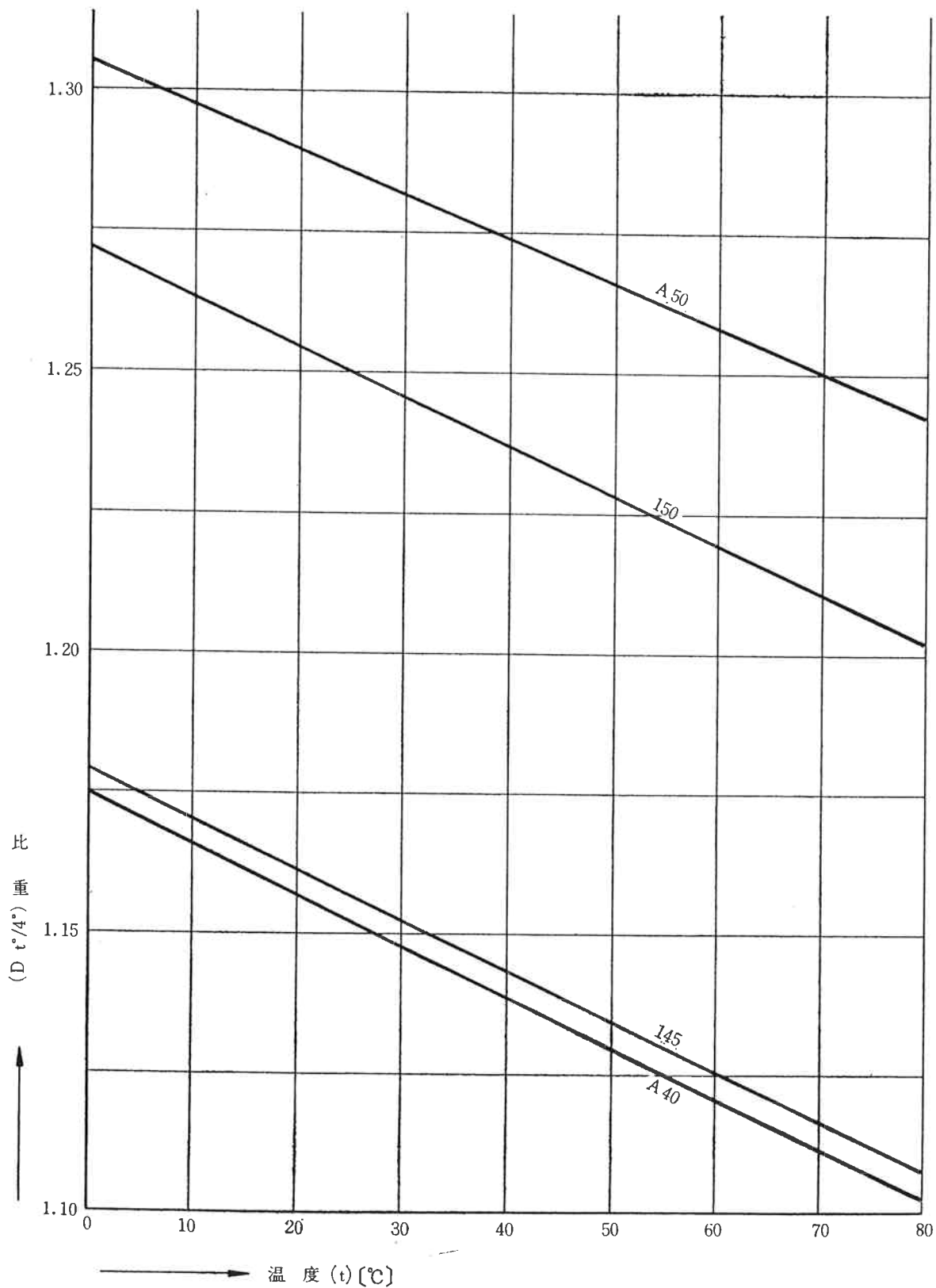


図 3 トヨパックスの比重の温度変化

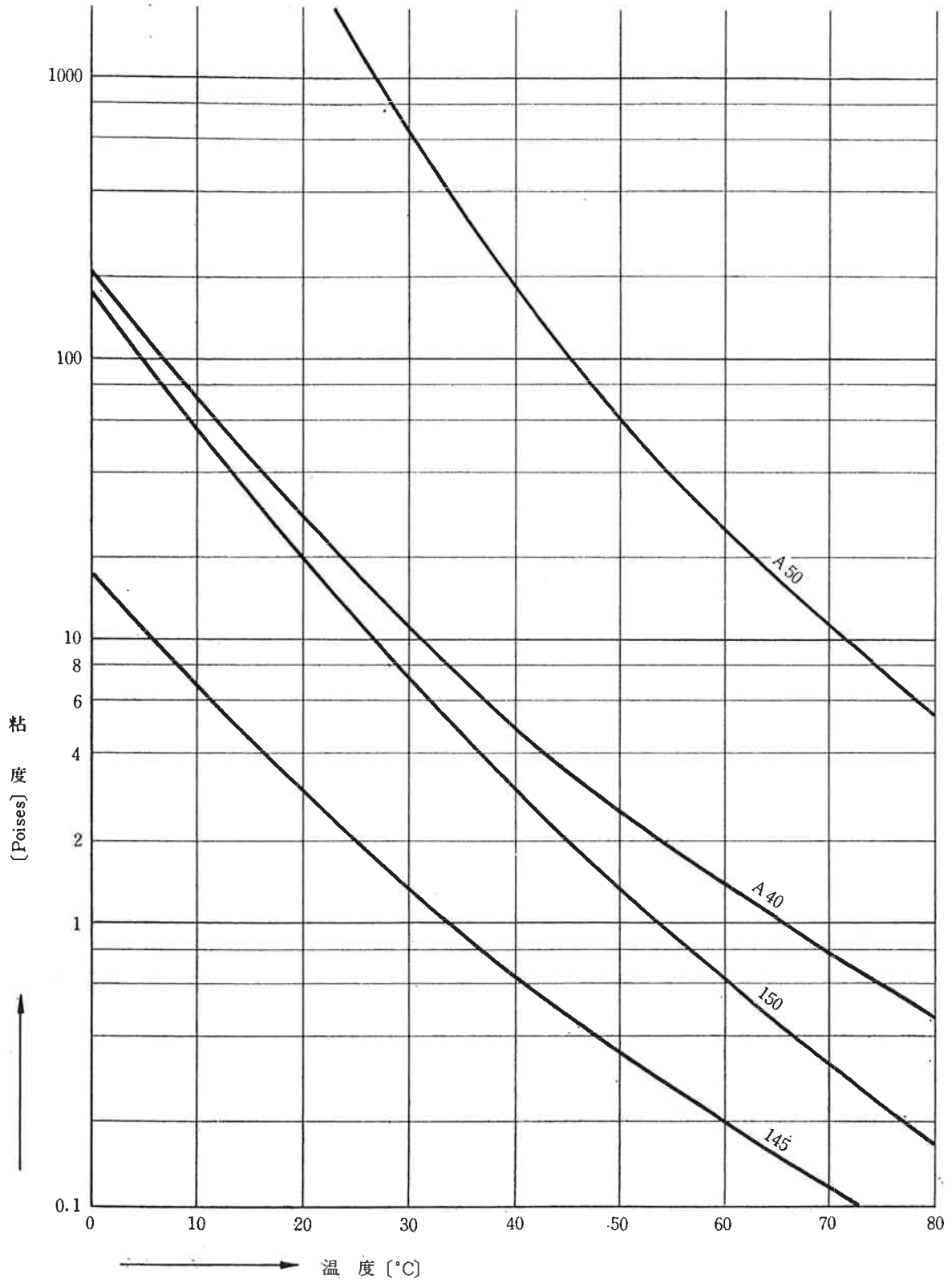


図 4 トヨパラックスの粘度の温度変化

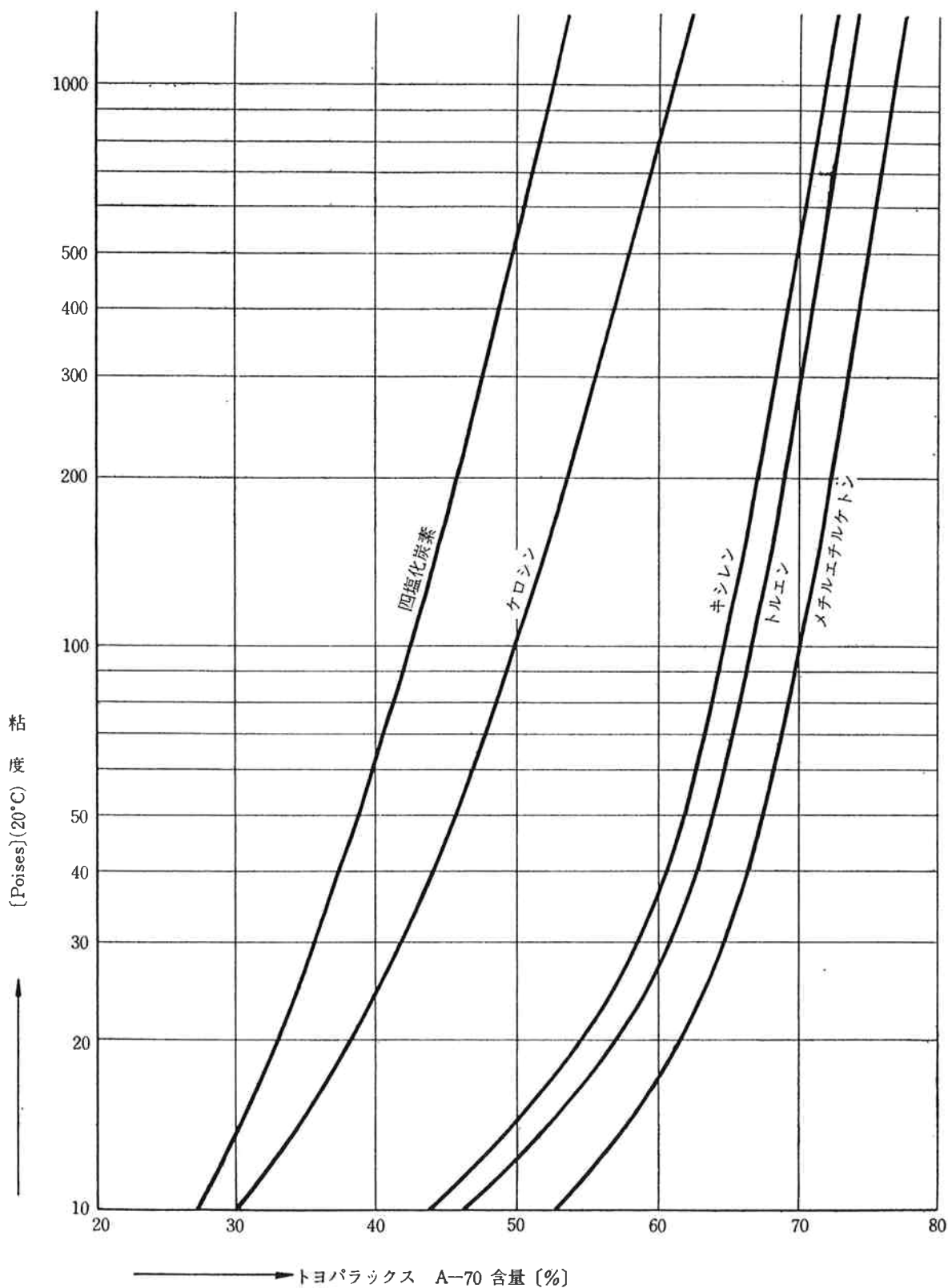


図 5 トヨパラックスA-70溶液の粘度